

名古屋市との 合併は一時のブームではありません 「チーム to 名古屋」は着実に活動しています

緑にお住いの伊藤彰子さんと名古屋市合併についてお話してみました。



チームリーダー
中村英子さん

一言で言えば、「名古屋市合併を進め

中村リーダー
どうして別のグループになったんですか？

伊藤さん
「チーム to 名古屋」を立ち上げ、今はこのグループで活動しています。

中村リーダー
そうですね。昨年3月に、

伊藤さん
いまは、別のグループで活動されていますね。

中村リーダー
はい、4年ほど前の夏ですが、「名古屋市合併を進める会」というのを、私ともう一人の議員と2人が中心となって立ち上げ、活動を始めました。

伊藤さん
合併に向けて、具体的な活動をしていましたよね

中村リーダー
そうですね。もう、二〇年くらい前から、その主張をしていますし、今もその思いは変わりません。

伊藤さん
中村さんは、かなり前から、蟹江町は名古屋市に編入してもらったほうがいい、という発言をされてきましたが、今もお考えは変わらないのでしょうか？



会員
伊藤 彰子 さん

る会」の中心的立場にいる人への信頼がなくなり、活動が続けられなくなってしまったことです。

会員の皆様には本当に申し訳ないと思いましたが、当時の会のままでは活動を続けることは無理と判断し、やむなく次の種をまくことにしました。それが「チーム to 名古屋」です。規模は小さくなりましたが、しっかりとした核ができています。

伊藤さん
でもそのことは、合併を期待していた、多くの町民の熱を冷ますことになったのではないですか

中村リーダー
私も「合併は、もうダメだわ」とか「あきらめた」とかいう声を直接、何人かの町民から聞いています。がっかりさせたことで、気持ちの冷えた方もいると思います。

伊藤さん
それでも、活動を続けられるんですね。

中村リーダー
「合併」というのは時間のかかる大仕事です。もともと簡単なことではないのです。それを実現させることは、今日明日にできることではないと思います。大事なことは、真摯にこの主張を続け、最終的に実現までもっていくことです。そのためには住民の力が不可欠です。

伊藤さん
名古屋市以外の市町とは、合併の話は全くないのでしょうか。

中村リーダー
今は、具体的な話しはありません。過去には、蟹江町も旧弥富市・十四山村と合併しようとして、合意寸前までいったことがあります。しかし、財政基盤の弱いもの同士がくっついて、そこには進歩がないのです。合併するなら、蟹江町は名古屋市とでなくてはならないのです。